

3 後志の森林・林業 FORESTRY

カラマツ・トドマツ主体の針葉樹林とナラ・カバ・カエデ・ブナ等の広葉樹林が広がっている。「ようていカラマツ」をはじめとする後志産木材製品の地材地消を展開している。

■ 森林・林業の概要

森林面積

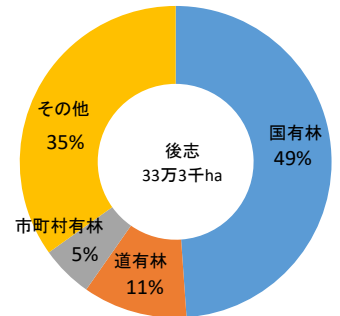
約33万3,000ha（全道約553万7,000haの6%）

樹種別

- ・ カラマツ・トドマツ主体の針葉樹とナラ・カバ・カエデ・ブナ等の広葉樹で構成。
- ・ ブナ自生地は北限。

林種の構成

- ・ 天然林の割合が高く、人工林率は約2割。
- ・ カラマツを主体とした資源が成熟期にあり一層の利用促進が求められている。



資料：令和4年度北海道林業統計

森林組合

2組合設立、地域林業の中核的担い手として民有林の森林整備等を実施。

木材加工工場

6つの製材・木材チップ工場が操業中。（「製材工場・木材チップ工場動態調査」令和6年3月時点）

■ 地材地消の取組

- 地元産の木材を地元で使う「地材地消」が進められ、公共施設等の構造材や内装材として活用。
- 京極町やようてい森林組合等を中心とした「ようてい水源の森づくり推進協議会」が、平成24年10月1日に森林認証を取得し、後志産カラマツ材の「ようていカラマツ」ブランド化を推進。
- 林業・木材加工流通業・建築関係業者等の連携により発足した「しりべし・くつろ木の会」が、民間住宅分野において地材地消を広める活動を推進。（平成28年7月25日設立）
- 令和元年度より、管内のリゾート地域において民間企業が地域材を構造材等に用いるケースが見られはじめた。



施設見学会 (R4. 10. 18 ニセコ町)



地域材利用推進講演会 (R5. 10. 24 倶知安町)



しりべし・くつろ木の会は、建築分野での地域材の利用拡大を目的に、管内の建設会社、設計事務所、森林組合、建材会社、林業会社、自治体などの皆様で情報共有するネットワークです

■ 道民の理解と参加の促進

- ・ 道民の皆さんに森林づくりへの理解を深めていただくため、管内各地の植樹祭や育樹行事の開催を支援。
- ・ 「木育」の取組を推進するため、地域の各種イベントにおける「木育ひろば」等の提供、小中学校等での森林学習や木工クラフト体験を実施。また、地域の木育マイスター等が開催する木育活動を支援。



「いのちの森植樹祭inおたる朝里ダム」(R5. 10. 24 小樽市)



「くろまつない秋の木育フェス」(R5. 10. 24 黒松内町)